

相同関係

言いかえ問題の解き方を紹介します。

同じ意味の言葉を探す

ぼくは、テストで百点をとることを目指して勉強していました。そして、昨日、目標を達成できました。

この文章の「目標」とはどのようなことですか。「目標」と同じ意味の言葉を探すと、前の文に「目指して」とあります。ここから、「目標」が「テストで百点をとること。」だとわかります。

指示語（こそあじ言葉）をたどる

きみは、友だちとケンカしたからつらいんだね。その気持ち、わかるよ。

この文章の「その気持ち」とはどのような気持ちですか。「その」という指示語に注目して、直前を見ます。そうすると、「その気持ち」が「友だちとケンカしてつらい気持ち。」だとわかります。

接続語（つなぎ言葉）をたどる

彼の顔は真っ赤だった。しかし、彼は怒りをおさえて、冷静になろうとした。

この文章の「彼の顔は真っ赤だった」には、どのような気持ちが表れていますか。

直後に「しかし」という逆接の接続語があるので、「顔が真っ赤」と「怒りをおさえる」「冷静」が反対の関係だとわかります。したがって、「顔が真っ赤」は「怒っている気持ち。」の表れです。

次の文章を読んで、あとの問に答えましょう。

二〇一六年六月、イギリスでは、国民投票によって欧州連合（EU）からの離脱が決まりました。同年一月、アメリカでは、ドナルド・トランプ氏が大統領に選ばれました。大国のこうした動きの背後には何があるのでしょうか。

イギリスのEU離脱から考えましょう。EUに加盟している国の人々は、ビザなしで自国と他国を行き来できます。そのため、豊かでない国からイギリスにたくさんの人々がおしよせます。彼らを受け入れるための費用は、税金から出ています。また、イギリスは、EUに多額の寄付をしてきました。これらの負担をいやがる国民の間には、「イギリスにEUは必要ない。自力でやっていける」という感情が高まりました。この感情が国民投票の結果を左右しました。

また、アメリカ大統領選では、トランプ氏が、「強いアメリカ」を取りもどすことをうたったえました。同時に、「メキシコとの国境に壁を作る」

などの発言も繰り返しました。彼のメッセージに共感した人々が彼に投票したのです。

イギリスのEU離脱とアメリカ大統領選に共通するのは、自国を第一に考えて他国と距離を置くとする姿勢です。これをナショナリズムといいます。最近では、世界的な不況やテロ事件などの影響で、多くの人々が不安な気持ちになっています。彼らが「安心・安全な国」を求めようとするほど、ナショナリズムは強まっています。ナショナリズムの流行によって、世界のあり方はガラリと変わるかもしれません。

問一 「大国のこうした動き」とは何ですか。二つ書きましょう。

Two empty rectangular boxes for writing answers to Question 1.

問二 「ナショナリズム」とは何ですか。文章の中から、二十三字で書きぬきましょう。

A grid of empty boxes for writing answers to Question 2.

ES	相同関係	解答
----	------	----

問一

(例) イギリスで、国民投票によってEUからの離脱が決まったこと。

(例) アメリカで、ドナルド・トランプ氏が大統領に選ばれたこと。

問二 自国を第一に考えて他国と距離を置こうとする姿勢